

『市総合計画』の始まり

市が誕生して20年、昭和30年代に行われた企業誘致により、広島県西部における臨海工業都市を形成、その後日本経済の成長につれて、工業都市として成熟段階に入っていた。生産機能を拡充するに従い公害問題が次第に表面化、生活環境の保全が市行政の主要な課題となってきたのもこの頃である。それまでの地域経済の成長を工業化に求め、それを市のまちづくりの基盤とした発想に、方針転換が迫られていた。

昭和49（1974）年4月30日、文化会館（アゼリアおおたけの前身）で『第1回大竹市総合計画審議会』が開催され、市民の生命と健康を守るために、生産機能が過度に市域内に集中することを抑え、市民に快適な生活環境を保障し、行財政を通じて所得の公平な配分を実現することで、市民福祉を増進することを基本理念としたのであった。これを受け、1975（1985）年の行政の指針である『大竹市総合計画書』は22回の審議会を経て、昭和51（1976）年12月に策定されている。また、議員提案による「公害追放宣言都市」の決議がなされているのもこの年の12月議会である。

市制施行20周年

市制施行20周年記念行事は、5月

ており、20周年の記念式典は昭和49（1974）年5月15日であった。理由は不明であるが9月ではなく、奇しくも二階堂市長自身が出席した最初の記念式典と最後に出席した記念式典はともに5月のことで、市の花『サツキ』が咲きそろそろ季節であった。以後、周年記念式典は5月には行われていない。

歴史の分岐点に

昭和49（1974）年は、人間の不注意で阿多田島が半分焼失した山火事と、自然の力による阿多田島の深刻な水不足という阿多田島最大のピンチで始まった年であった。また、大竹駅舎が新しくなり、交通の拠点に生まれ変わった年で、今後10年間のまちづくりの指針となる『大竹市総合計画書』の策定が開始された年でもあった。市民憲章が制定され、市の木『クロガネモチ』、市の花『サツキ』の発表、近代的な玖波公民館の完成、『公害追放宣言都市』の決議と、まちづくりがステップアップした年であった。そして大竹市の草創期を担ったリーダー二階堂市長に代わって、新しいリーダー神尾徹生市長が登場したのはまさにこの年であった。歴史的な視点でとらえると、昭和49（1974）年は大竹市にとっての分岐点（ターニングポイント）となった年だったのである。

15日から20日の6日間にわたって盛大に市内の各会場で繰り広げられた。しかし市の誕生から20年の間、順風満帆であったわけではない。誕生直後は財政赤字となり、「財政再建」が急務であった。昭和37（1962）年には厚生省から『赤痢予防特別対策地区』に指定され、3年間は対策に迫られた。他にも公共下水道事業は緒に就いたばかりで、小・中学校の整備、保育所の建設、消防署の建設と課題は山積みであったが、市民プール、文化会館、市体育館を建設し、少しずつ都市基盤を整備するなど広島県西部の拠点となる工業都市として成熟しつつあった。

市制施行70周年連載企画

振り返る 70年

問い合わせ
企画財政課 ☎59-2124

第7回 ターニングポイントとなった「昭和49年」

市制施行から20年を迎えた昭和49年。まちの草創期をけん引したリーダーの突然の退場と、新たなリーダーが誕生した年でした。



市内各地で市の花サツキの苗が配られた（写真は西栄）



文化会館で開催された総合計画審議会

ばんざい」（石本美由起作詞）の発表などが行われている。『市民憲章』は印刷され各家庭に配布された。

驚くべきニュース

市域が市制施行20周年を祝うムードでいっぱいだったちょうどその時、驚くべきニュースが市中を駆け巡った。5月15日の記念式典に元気な姿を見せていた、二階堂哲朗市長が5月20日、心筋梗塞のため国立大竹病院において急逝したのである。二階堂市長は、5月20日午後市役所で行われた広島・岩国大竹間国道対策特別委員会へ出席され、普段と変わらない様子だったが、休憩に入った直後、市長室で倒れ、午後3時15分国立大竹病院へ緊急入院、午後9時5分帰らぬ人となったのである（行年71歳）。二階堂市長は昭和29

（1954）年10月、市民の期待を担って初代の大竹市長に就任、以来20年にわたって、大竹市の発展の基礎を築くため全力で市政を担当してきた方であった。そしてあと133日で市長就任5期目を満了するはずであった。

市葬は、5月30日、大竹市体育館（大竹小学校の隣にあった）で執り行われた。その後、6月30日に市長選挙が行われ、神尾徹生氏が初当選し、2代目の市長となった。これ以後市長選挙は5月末〜6月にかけて行われることとなったのである。

余談になるが、最初の市制施行記念式典は市が誕生した昭和29（1954）年9月1日ではなく、翌年の昭和30（1955）年5月3日であった。そして10周年の記念式典は昭和39（1964）年11月1日に行われ



急逝した二階堂初代市長の市葬が市体育館で執り行われた（5月30日）



市制施行20周年祝賀会が市体育館で行われた